

日本物理学会 第 74 回年次大会 (2019 年)
領域 10 誘電体分科インフォーマルミーティング 議事録

日時：2019 年 3 月 15 日 (金) 17:00～18:00

場所：九州大学伊都キャンパス K107 会場 (参加人数 16 名)

進行：領域 10 誘電体分科運営委員 中島伸夫 (広島大学)

書記：領域 10 誘電体分科運営委員 堀部陽一 (九州工業大学)

1. 領域 10 運営会議 (2018 年 12 月 8 日) の報告

- ・ 若手奨励賞の受理漏れを防ぐため、追跡可能な手段で申請書を提出するとともに、eメールで領域代表に知らせる旨の追記について説明があった。
- ・ 学生優秀発表証の領域 10 内での合計 3 回の縛りについて、議論があったとの説明があった。

2. 学生優秀発表賞について

- ・ 発表賞の歴史的経緯と他領域での状況などについて、説明があった。
- ・ 領域 10 内での合計 3 回の縛りを今後どうするかについて、意見交換を行った。意見としては、以下のようなものがあった。
 - ・ 3 回縛りのため就活・奨学金免除とは関係がなくなり、学生へのメリットがあまりない。回数について議論する必要がある。
 - ・ 学生のインセンティブになるようにできないか。
 - ・ 賞をもらった学生の進路をチェックし、その上で議論する必要がある。

3. シンポジウム開催状況について

- ・ 最近のシンポジウム開催状況について、説明があった。また 2019 年秋季大会のシンポジウムをどうするかについて、議論があった。
- ・ 第 75 回年次大会 (2020 年 3 月) での領域 10 新規シンポジウム「ミルフィーユ構造の材料科学」について、説明があった。

4. 領域 10：正副代表・運営委員について

- ・ 平成 31 年度領域 10 の正副代表および各分科の運営委員の紹介があった。

5. 次々期領域運営委員について

- ・ 次々期領域運営委員 (2020 年 10 月～2021 年 9 月) として、真中浩貴氏 (鹿児島大学) が推薦され、賛成多数で承認された。

6. 概要提出率について

- ・ 概要を忘れずに提出するよう、依頼があった。

7. 国際会議の報告と告知

- i) RCBJSF-15（日露バルト三国強誘電体シンポジウム、July 3-7, 2020, Okayama, Japan）
について、案内があった。
- ii) PACRIM13（沖縄、2019年10月27日～10月31日）について、案内があった。

8. 次世代人材育成プロジェクトおよび寄付金について

赤字削減のため、物理学会からの次世代人材育成プロジェクトおよび関係した寄付金依頼について、松下栄子氏（岐阜大学）より説明があった。プロジェクトパンフレットが既に公開されており、法人・個人について寄付を募る予定であることが説明された。また寄付金募集の良案があれば連絡してほしいとの依頼があった。また予算削減のため、学会誌を隔月にするなどの意見があった。

以上